

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 1 区分
【発行日】平成 18 年 4 月 13 日 (2006.4.13)

【公開番号】特開 2000-319029 (P2000-319029A)
【公開日】平成 12 年 11 月 21 日 (2000.11.21)
【出願番号】特願 平 11-128808
【国際特許分類】
 C 0 3 B 33/037 (2006.01)
【F I】
 C 0 3 B 33/037

【手続補正書】
【提出日】平成 18 年 2 月 28 日 (2006.2.28)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項 1
【補正方法】変更
【補正の内容】

【請求項 1】 ガラス板に所定の切断線を切り込むカッターを備えたカッター手段と、該カッター手段に連結されたカッター保持部材と、該カッター保持部材を介して前記カッター手段をガラス板に対して移動させる移動手段とを備え、該移動手段でカッター保持部材を移動させることにより、カッター手段のカッターでガラス板に所定の切断線を切り込む切断線切込方法において、

前記カッター保持部材をカッターに対して所定量オフセットして配設するとともに前記カッター保持部材の移動軌跡を前記ガラス板の所定の切断線よりも外周側に位置させながら前記カッター保持部材を移動させ、カッターのガラス板への当接部を前記移動軌跡の内周側で移動させて、ガラス板に所定の切断線を切り込むことを特徴とするガラス板の切断線切込方法。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 7
【補正方法】変更
【補正の内容】

【0 0 0 7】

【課題を解決するための手段】

本発明は、前記目的を達成するために、ガラス板に所定の切断線を切り込むカッターを備えたカッター手段と、該カッター手段に連結されたカッター保持部材と、該カッター保持部材を介して前記カッター手段をガラス板に対して移動させる移動手段とを備え、該移動手段でカッター保持部材を移動させることにより、カッター手段のカッターでガラス板に所定の切断線を切り込む切断線切込方法において、前記カッター保持部材をカッターに対して所定量オフセットして配設するとともに前記カッター保持部材の移動軌跡を前記ガラス板の所定の切断線よりも外周側に位置させながら前記カッター保持部材を移動させ、カッターのガラス板への当接部を前記移動軌跡の内周側で移動させて、ガラス板に所定の切断線を切り込むことを特徴としている。